



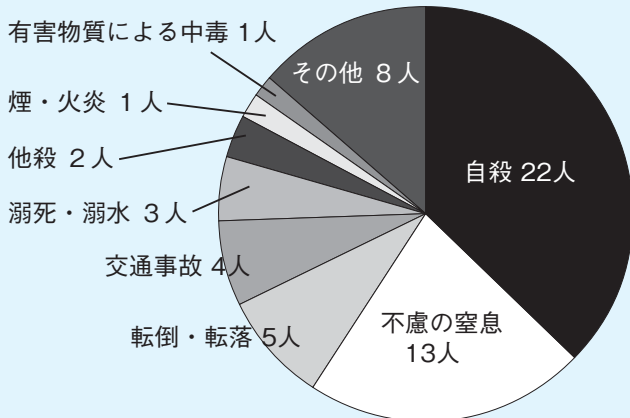
今日も無事でいてほしい *Safe Community*
 みんなで声がけ いのちを守る とわだセーフコミュニティ

十和田市セーフコミュニティ 検索

問 まちづくり支援課
 セーフコミュニティ係 ☎ 6777

市内では、自殺や窒息、交通事故などにより年間約60人もの尊い命が失われています。家庭や職場、地域で声を掛け合い、みんなで自殺や死亡事故を防ぎましょう。

市民の病気以外の死因 (59人)



資料：平成23年の人口動態統計より

十和田市いのちを守る運動月間
 総決起大会のお知らせ

どなたでも参加できます
みんなで尊い命を守る機運を高め、事故やけがの予防に取り組みましょう！

とき 8月11日(月) 午後2時～4時
 ところ 市民文化センター

- ◆総決起大会
- ◆セーフコミュニティ活動の紹介
- ◆自殺予防対策講演会「素敵な出会いのために～よりよい自分と他者の関係～」
 講師 NPO法人あおもりのいのちの電話 理事長 石川 徹一さん

セーフコミュニティ認証を受けた8月はいのちを守る運動月間です



とわだの文化財❖15 ～十和田市の文化財を紹介するコーナーです 問スポーツ・生涯学習課 ☎ 2313

国指定重要文化財

ちゅうこう つぼがた
「注口土器と壺型土器」

縄文時代の十和田市には華麗な縄文文化が花開いていました。旧四和村地区から出土した注口土器と壺型土器は、その時代を代表する優れた作品であり、ともに国の重要文化財に指定されています。

注口土器

縄文時代後期(約4000年～3000年前)の土器で、胴部の中央に注ぎ口があり、土瓶のような形をしています。器面を飾る文様は磨消縄文手法(縄文を施した後に、一部を磨り消して無文部をつくる手法)で渦巻文を均等に配置し、磨かれた無文部と縄文部の対比が極めて美しい文様です。

均整のとれた器形と文様から縄文人の卓越したデザイン力と造形力がしのばれる逸品です。

この土器は、昭和10年ごろ、開田作業中に掘り出されたもので、現在は、東京国立博物館に収蔵されています。



大字米田字清瀬出土
 高さ21.8cm 胴部径25.8cm
 画像提供 東京国立博物館

壺型土器

縄文時代晩期(約3000年～2300年前)の大型土器で、開き気味の口縁部に小さな頸部を付け、楕円形の大きな胴部をもつ壺型の土器です。

口縁部と胴下部に縄文を施し、頸部は無文、胴上部には雲形文が磨消縄文手法で浮彫状に施されています。器面の各所に赤色顔料が残っており、製作時には全面に塗布されていたものと思われま。

極めて精巧な作りのこの壺は、当時の高い技術が認められる作品で、『考古学辞典』(三省堂 平成23年出版)に雲形文土器として掲載されています。

昭和28年ごろ宅地の造成工事で掘り出されたこの壺は、現在は所有者から借りて青森県立郷土館が展示しています。

【文責】
 市文化財保護協会



大字滝沢字川原出土
 高さ42.0cm 胴部径30.0cm
 画像提供 青森県立郷土館